

平成28年度「全国学力・学習状況調査」の結果 —分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

区名	阿倍野区
学校名	阪南中学校
学校長名	山崎 英志

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、平成28年4月19日（火）に、3年生を対象として、「教科（国語・数学）に関する調査」と「生徒質問紙調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科も含め、総合的に子どもの学力向上を目指しています。学校の現状や取組の参考にしていただきたいと思います。

1 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準向上の観点から、生徒の学力や学習状況を継続的に把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

- (1) 教科に関する調査（国語、数学）
 - ・主として「知識」に関する問題（A問題）
 - ・主として「活用」に関する問題（B問題）
- (2) 質問紙調査
 - ・生徒に対する調査
 - ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の中学校第3学年の原則として全生徒
- ・阪南中学校では、第3学年 252名

平成28年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

- 平均正答率を見ると、国語Aで2.4P、国語Bで2.2P、数学Aで9.1P、数学Bで7.0P、全国平均を上回っている。数学が国語に比べると全国平均との差が大きく、数学の学力は一定定着していると考えられる。
- 平均無解答率を見ると、国語Aで-0.9P、国語Bで-0.2P、数学Aで-2.4P、数学Bで-3.4Pとなっており、すべてで全国平均を下回っている。
- 平均正答率、平均無解答率を見ると、全体としては、概ね良好な結果と言える。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

〔国語〕

- A・B問題とも、平均正答率は全国平均を上回るとともに、平均無解答率は全国平均を下回っている。4領域別でも、A・B問題とも1.6P～3.0P全国平均を上回っており、生徒の興味・関心を引く指導の工夫・改善や「分かる授業」の実践に取り組んだ成果が現われている。

〔数学〕

- A・B問題とも、平均正答率は全国平均を上回るとともに、平均無解答率は全国平均を下回っている。4領域別でも、A・B問題とも、6.3P～12.5P全国平均を上回っており、基礎基本の定着が図られている。

質問紙調査より

- 「学校の授業以外に1日どれくらい勉強するか」の問いに、2時間以上と回答した生徒が50.9%と過半数を超え、全国平均を16.7P上回っている。塾を含めた家庭学習の時間は概ね確保されており、学習に対する意識の高い生徒が多い。
- 読書については、読書が好きと肯定的回答をする生徒が54.1%いる反面、普段まったくしない生徒が62.8%もあり、部活動や通塾で時間がないことを勘案しても、読書習慣の定着が課題である。
- 「自分によいところがあるか」の問いに対して、8割以上の生徒が肯定的な回答をしており、自尊感情の醸成については、これまでの教育活動の成果が現われている。

今後の取組

- 規律ある学校生活が維持され、堅実かつ着実に教育活動が推進されている結果が調査結果に現われている。引き続き、生徒が集団でのルールやマナーを守り、落ち着いた状況で学習に取り組めるよう、継続して取り組みを進めていく。
- 読書習慣の定着に向け、学校図書館の充実を図るとともに、読書週間等の取り組みを充実させていく。
- 生徒がより興味関心を持って授業に取り組めるように、ICTを活用した授業やアクティブラーニングを授業に積極的に取り入れていく。
- 個に応じた指導のさらなる充実を図るとともに、個々の教員の授業力の向上を図っていく。

【 全体の概要 】

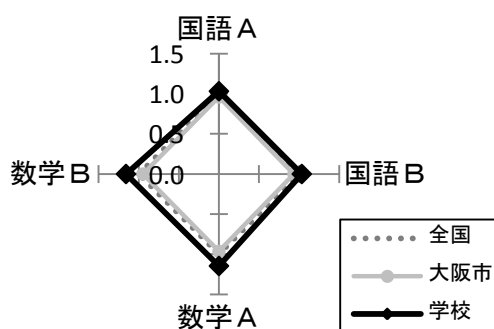
平均正答率（％）

	国語A	国語B	数学A	数学B
学校	78.0	68.7	71.3	51.1
大阪市	72.5	62.1	60.0	41.7
全国	75.6	66.5	62.2	44.1

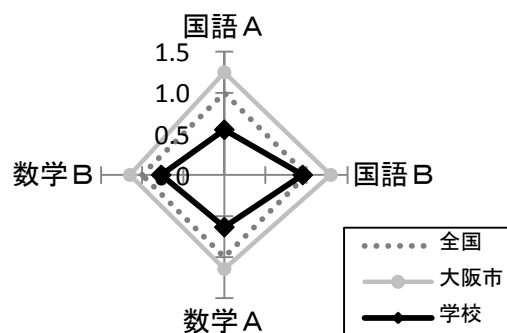
平均無解答率（％）

	国語A	国語B	数学A	数学B
学校	1.1	4.2	4.0	11.3
大阪市	2.5	5.7	7.2	16.9
全国	2.0	4.4	6.3	14.7

平均正答率(対全国比)



平均無解答率(対全国比)



【 国 語 】

A 問題

平均正答率(%)

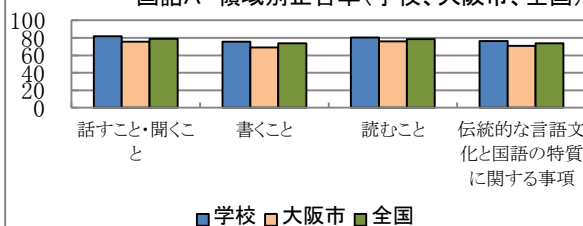
A 問 題			平均正答率(%)		
			学校	大阪市	全国
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	6	81.9	75.7	78.9
	書くこと	4	75.6	69.1	73.7
	読むこと	6	80.2	76.0	78.6
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	17	76.4	71.0	73.9

B 問題

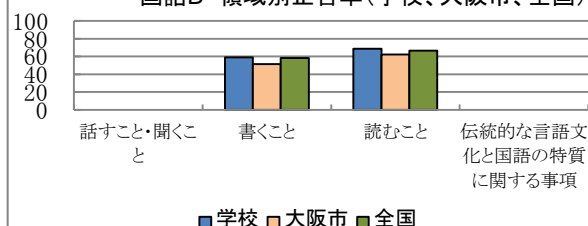
平均正答率(%)

B 問 題			平均正答率(%)		
			学校	大阪市	全国
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	—	—	—	—
	書くこと	3	59.1	51.3	58.3
	読むこと	9	68.7	62.1	66.5
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	—	—	—	—

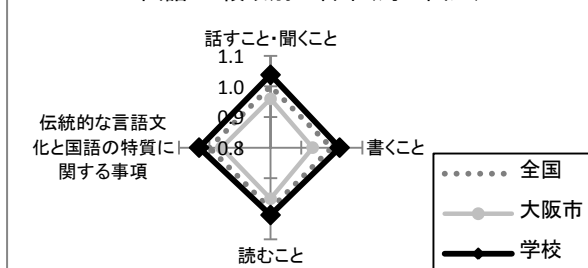
国語A 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



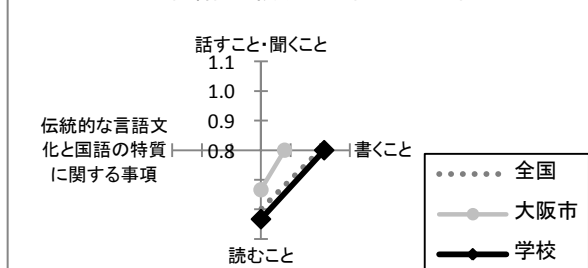
国語B 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



国語A 領域別正答率(対全国比)



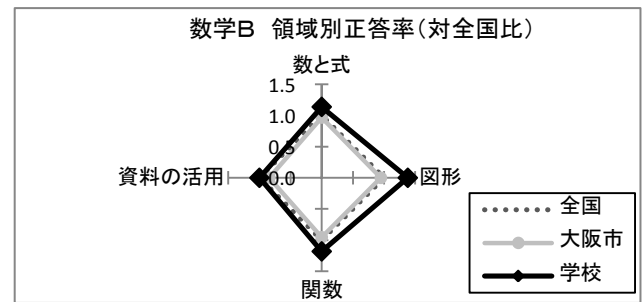
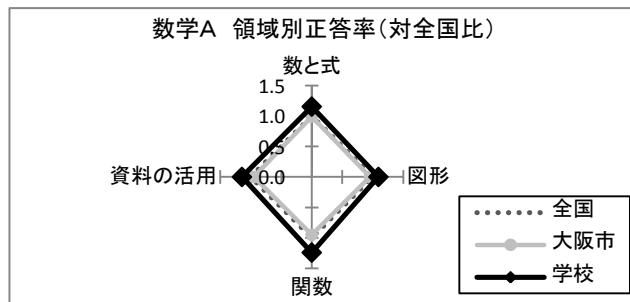
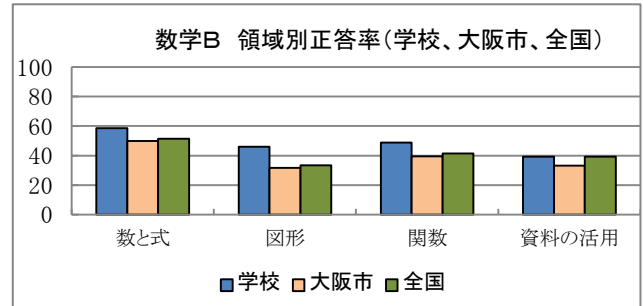
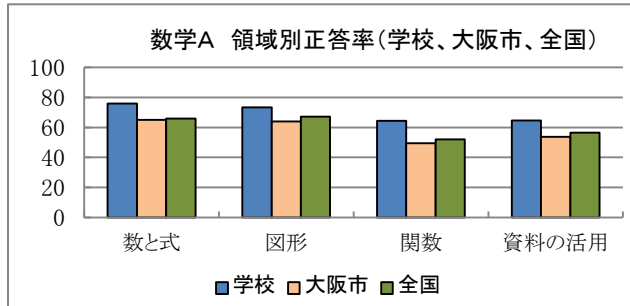
国語B 領域別正答率(対全国比)



【 数 学 】

A 問 題			平均正答率(%)		
			学校	大阪市	全国
学習指導要領の 領域等	数と式	12	76.0	65.1	65.9
	図形	12	73.4	64.1	67.1
	関数	8	64.5	49.4	52.0
	資料の活用	4	64.7	53.7	56.5

B 問 題			平均正答率(%)		
			学校	大阪市	全国
学習指導要領の 領域等	数と式	6	58.6	49.8	51.5
	図形	2	46.0	31.6	33.3
	関数	5	48.9	39.5	41.4
	資料の活用	2	39.3	33.1	39.3



生徒質問紙より

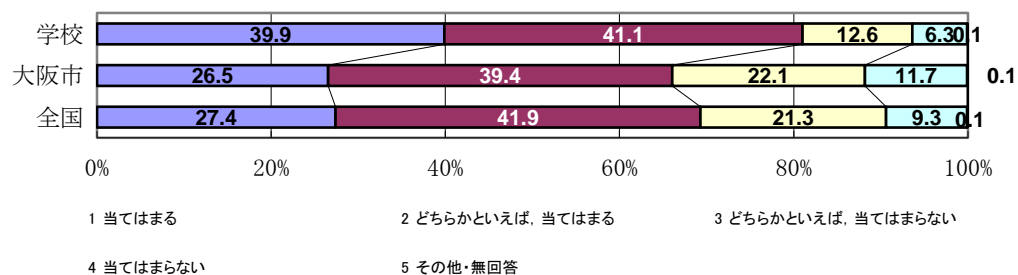
1 2 3 4 5 6 7 8 9

質問番号

質問事項

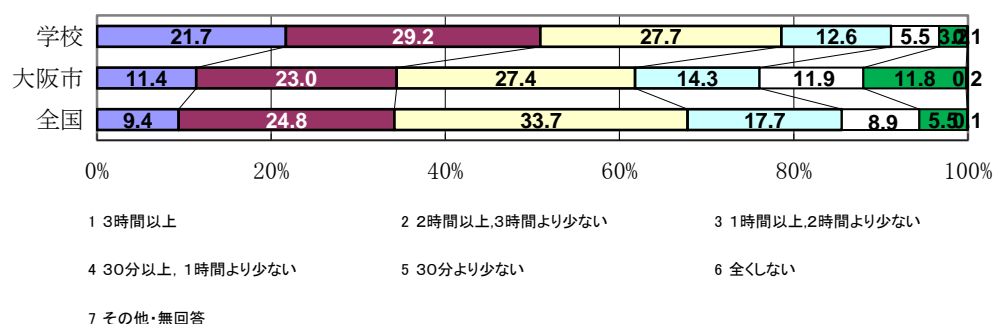
6

自分には、よいところがある
と思いますか



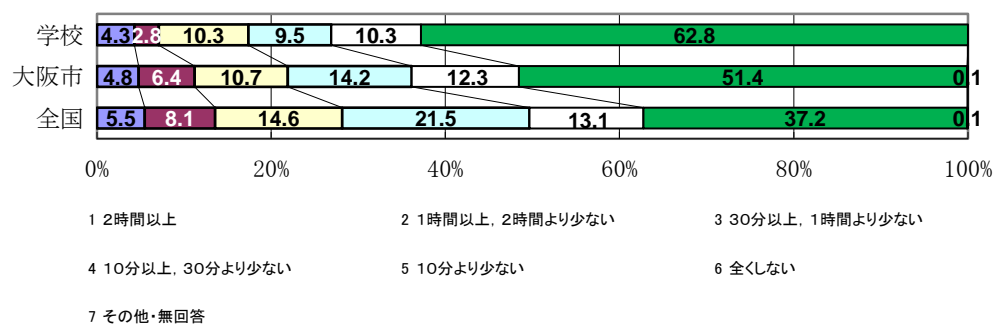
14

学校の授業時間以外に、
普段(月～金曜日)、1日当
たりどれくらいの時間、勉強
をしますか(学習塾で勉強
している時間や家庭教師に
教わっている時間も含む)



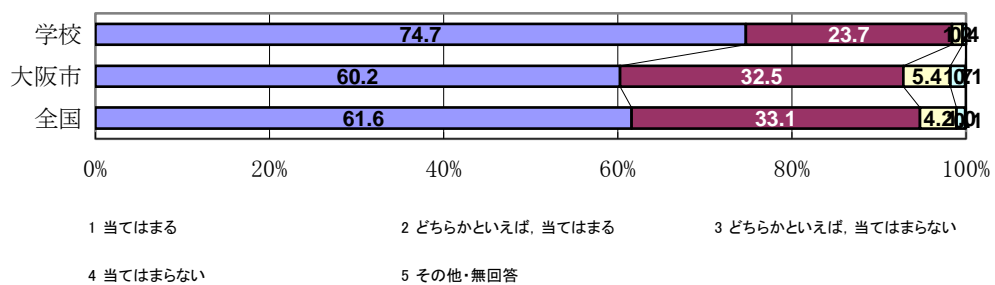
17

学校の授業時間以外に、
普段(月～金曜日)、1日当
たりどれくらいの時間、読書
をしますか(教科書や参考
書、漫画や雑誌は除く)



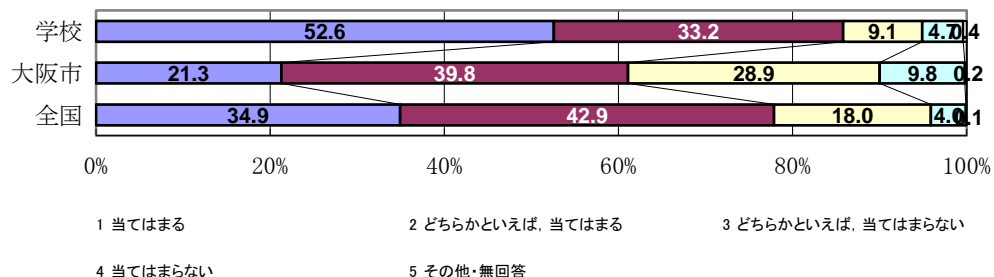
39

学校の規則を守っています
か



49

1, 2年生のときに受けた授
業では、生徒の間で話し合
う活動をよく行っていたと思
いますか



学校質問紙より

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

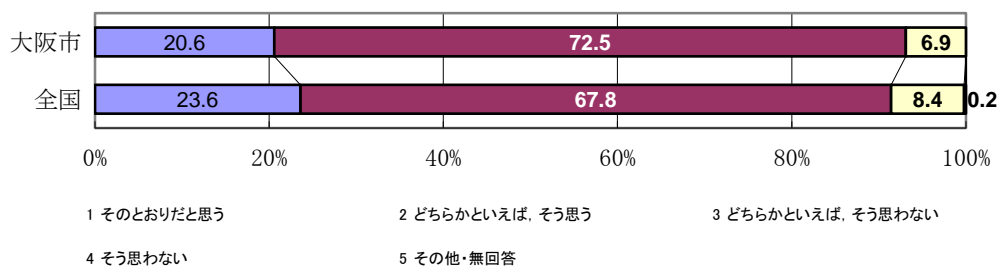
質問番号

質問事項

14

調査対象学年の生徒は、
熱意をもって勉強している
と思いますか

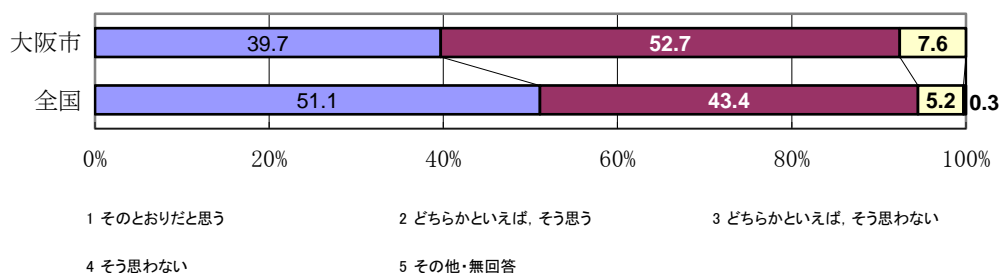
学校 「そのとおりだと思う」を選択



15

調査対象学年の生徒は、
授業中の私語が少なく、落
ち着いていると思いますか

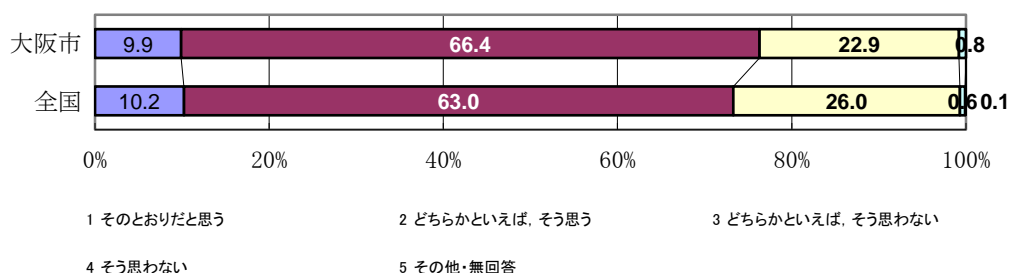
学校 「そのとおりだと思う」を選択



17

調査対象学年の生徒は、
学級やグループでの話し合
いなどの活動で、自分の考
えを相手にしっかりと伝える
ことができていると思います
か

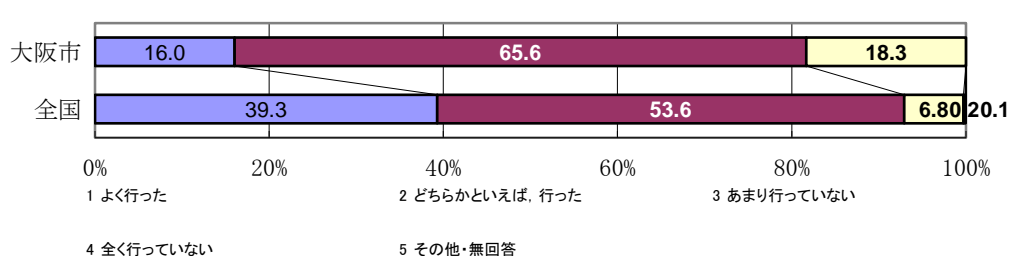
学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



42

調査対象学年の生徒に対
して、前年度までに、学級
やグループで話し合う活動
を授業などで行いましたか

学校 「どちらかといえば、行った」を選択



59

平成27年度全国学力・学習
状況調査の自校の結果を分
析し、学校全体で成果や課題
を共有しましたか

学校 「よく行った」を選択

